

**令和6年度予算主要事業の概要**  
**(事業別説明資料)**

**商工観光部**



## 目 次

飛騨市名産品パンフレットの制作 .....	3
地元就職者応援プロジェクト .....	4
市産品の海外輸出振興プロジェクト .....	6
商工業活性化包括支援 * .....	7
事業承継ネットワークの構築 .....	10
町並み夜間景観の整備 .....	11
飛騨古川町並み景観保全の仕組みづくり .....	12
薬草を活用したまちづくりの推進 .....	13
戦国観光の推進 .....	14
ドローンを活用したまちづくり .....	15
自然環境保全と活用の推進 .....	16

## 新規 飛騨市名産品パンフレットの制作

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
301	一般財源	301 委託料

(前年度予算 0)

### 2 事業背景・目的

令和5年度は、各種イベントが各地で開催されるなど、市内事業者も催事や物販活動を再開し、コロナ禍前に近い売上げや成果が出始めてきています。市でも、令和5年度は販路拡大に注力し、関東・関西圏におけるイベントへの出展や市外企業・店舗への営業活動を展開してきたところです。

しかし、商品の魅力や良さ、生産者や製造者の熱意や思い等を思うように相手方に伝えきれていない実態もあり、商品PRの難しさを改めて認識しました。

このため、今後、更なる販路拡大を進めるにあたり、市外の企業や店舗及び催事やイベント時に売込むためのツールとして、「飛騨市名産品パンフレット」を制作し、営業やイベント中の広報活動はもとより、新たな販路を拡大するためのツールとして活用します。

### 3 事業概要

市内全ての店舗情報とともに、それぞれの商品の写真や魅力、生産者等の思いが伝わる内容を掲載した見開き8ページ程度の「飛騨市名産品パンフレット」を制作します。

また、店舗や商品ごとの二次元コードを掲載し、顧客等から店舗側へのアクセスを容易にすることで、新たな販路拡大につなげます。

さらに、パンフレットの印刷物制作と並行し、パンフレット掲載内容のデータ化を進め、パソコンやタブレット端末でもパンフレットを閲覧できるようにすることで利便性向上を図ります。



担当課：商工観光部商工課 (☎0577-62-8901) 予算書：P.110

## **拡充** 地元就職者応援プロジェクト

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
7,555	一般財源	7,555
		補助金 6,855
		使用料 680
(前年度予算 4,700)		その他 20

### 2 事業背景・目的

人材不足は今や全国的にも深刻な社会問題になっている中、当市においても労働人口の確保は喫緊の最重要課題として位置付けており、今後より一層市内企業における人材確保の支援及び魅力向上に繋がる取組みが必要となっています。

他方で、市内の企業及び労働者を対象に令和5年度に行ったアンケート調査では、企業が求める採用方針と求職者が求める就職要件に若干の乖離が見受けられたとともに、県外からのU I J ターン就職者からは、現在は制度として設けられていない車や社宅等に関する支援を求める意見が多いなど、企業側と求職者側で意識等に相違があることが浮彫りとなりました。

こうしたことから、令和6年度は主に市内企業に向けて、人材確保の現状認識と受入体制の意識統一を図るためのセミナーを実施するほか、市外から就職された方に対する生活面の支援の拡充等を行います。

### 3 事業概要

#### ①【新規】ぎふJ o bステーションでの企業カフェの開催 (20千円)

岐阜駅において企業説明会を実施し、市外へ向けた就職情報PR活動を実施します。

#### ②【新規】マイカーローン利子補給制度の創設 (500千円)

制度概要：Iターン就職者が最も負担を感じる自家用車購入費に対する利子補給

補助率等：利子の1/2 上限5万円/年 最大3年間

#### ③【拡充】社宅整備促進補助制度の拡充 (1,500千円)

制度概要：社宅を整備する事業者に対し、整備費用の一部を支援

補助率等：1/2以内 上限150万円

#### ④【拡充】企業人材確保支援補助 (2,000千円)

(1)制度概要：就職フェア出展にかかる経費の一部を支援

補助率等：1/2以内 上限5～10万円

(2)制度概要：就職情報サイト掲載にかかる経費の一部を支援

補助率等：2/3以内 上限5～50万円

(3)制度概要：人材紹介業者を活用した採用にかかる経費の一部を支援

補助率等：1/2以内 上限5～10万円（一部の職種のみ2/3）

**⑤【継続】飛騨地域合同企業説明会（735千円）**

飛騨地域で就職を希望される方に対し、採用を計画する地元企業を広く紹介するため、合同企業説明会を年4回程度開催します。

**⑥【継続】高校生向け企業見学バスツアー（680千円）**

地元高校生に市内企業を知ってもらうことを目的として、11月・2月に企業見学会を開催します。

**⑦【継続】従業員資格取得支援事業補助（1,000千円）**

制度概要：従業員が業務上必要な資格等を取得する場合に要する費用の一部を支援

補助率等：1/2以内 上限5万円/人

**⑧【継続】トライアル雇用支援補助（120千円）**

就職が困難な求職者の常用雇用を促進するため、ハローワークのトライアル雇用助成金に上乗せして奨励金を交付します。

**⑨【継続】インターンシップ支援事業補助（1,000千円）**

制度概要：将来的な就職を目的とした就労体験を受け入れる事業者に対し、必要経費の一部を支援

補助率等：宿泊費、交通費、マッチング経費等 補助率1/3～1/2以内 上限1～20万円

## **拡充** 市産品の海外輸出振興プロジェクト

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
4,500	一般財源 4,500	補助金 1,200
		旅費 1,790
(前年度予算 1,500)		その他 1,510

### 2 事業背景・目的

市内事業者の新たな販路拡大を目指し、令和5年度は、対中華圏へ向けた飛驒市輸出アドバイザー制度を新設し、台湾輸出事業では市内参加事業者10社のうち2社が輸出契約を締結することができました。

一方で、アメリカへの輸出を目的としたクラフトバレー事業では、1社が輸出契約締結に至りましたが、その他の市内事業者はアメリカへの輸出意向がほぼない状況です。

こうしたことから、令和6年度は台湾への輸出量増を目指すとともに、更にアジア経済のハブとなっているシンガポールを対象国として輸出事業を模索することで新たな販路拡大及びカントリーリスクの低減化を図ります。

### 3 事業概要

#### ①【拡充】台湾・シンガポール等進出事業 (3,000千円)

##### ○台湾輸出事業

台湾全土に対し営業活動を実施するほか、展示会へ事業者とともに出展します。また、台湾商社を飛驒地域へ招致し、現場での商談を実施します。

##### ○シンガポール進出事業

現地駐在員事務所を有する金融機関と連携し、シンガポールを中心とした近隣諸国への輸出を模索します。

#### ②【継続】輸出事業包括補助金 (1,200千円)

輸出事業に取り組む事業者を支援するため、次の制度を継続します。

- ・ 海外商談促進事業 上限10万円 補助率1/2
- ・ 輸出商品対応事業 上限20万円 補助率1/2
- ・ 海外相談支援事業 上限30万円 補助率2/3

#### ③【継続】対中輸出アドバイザー事業 (300千円)

対中輸出アドバイザー業務を輸出事業者へ委託し、市内事業者の伴走型支援を行います。

担当課：商工観光部商工課 (☎0577-62-8901) 予算書：P.110

## 拡充 商工業活性化包括支援

1 事業費 (単位：千円)		【財源内訳】		【主な使途】	
	20,055	ふるさと納税	3,739	補助金	20,000
		一般財源	16,316	委託料	55
(前年度予算	23,055)				

### 2 事業背景・目的

市内における商店は年々減少しており、その理由は売上げの減少、事業者の高齢化、後継者問題等多岐に渡ります。その一方で、更なる販路拡大を目指し、特色ある製品を製造販売し成果を上げている事業者も多数あります。

令和6年度は、積極的に外貨を取り込もうとする意欲ある事業者が、豊富な補助メニューの中から柔軟に選択できる包括的な支援制度を継続するとともに、事業者ニーズと実情に応じた制度へと拡充することで、市内商工業の振興を図ります。

### 3 事業概要

#### ①【新規】飛騨市起業化広告補助制度

新たに起業された事業者や事業者が取り扱う商品の認知度を高めるため、初期投資に係る広告宣伝費用等を補助します。

補助率：10/10（上限10万円）

対象経費：起業時の広告宣伝費、看板製作費等

#### ②【継続】その他各種支援制度

店舗の拡大、改修、新商品開発、インターネット環境整備など、市内商工業の振興に向けた豊富な支援メニュー（次ページに掲載）を提供します。

商工業包括支援事業 補助制度一覧表

<b>【新規】 飛騨市起業化広告補助制度</b>
制度概要：起業時の広告宣伝費、看板製作費等に係る費用を支援します。 補助率等：10/10・上限10万円
<b>【継続】 小規模事業承継促進補助</b>
制度概要：事業承継にかかる事業所改装、登記、広告掲載費用等を支援します。 補助率等：事業承継2/3以内・上限100万円、広告掲載2/3以内・上限20万円
<b>【継続】 事業拡大促進補助</b>
制度概要：市内企業の第2拠点の新設、市外企業の市内への進出を支援します。 補助率等：1/5以内・上限100万円
<b>【継続】 新商品開発補助</b>
制度概要：工芸品や農産加工物等の新商品開発及び販売に係る経費を支援します。 補助率等：1/2・上限30万
<b>【継続】 コンテスト等出品支援補助</b>
制度概要：コンテストへの出品に係る費用を支援します。 補助率等：1/2以内・上限15万円
<b>【継続】 知的財産権取得促進補助</b>
制度概要：特許権・商標登録費用を支援します。 補助率等：1/2以内・上限10万円
<b>【継続】 展示会出展補助</b>
制度概要：市外で開催される展示会・商談会等への出展費用を支援します。 補助率等：1/2以内・上限30万円 年2回まで
<b>【継続】 インターネット環境整備補助</b>
制度概要：ホームページの開設、リニューアル等に係る費用を支援します。 補助率等：1/2以内・上限30万円 年1回まで
<b>【継続】 店舗リニューアル補助</b>
制度概要：集客力向上につながる店舗のリニューアル工事を支援します。 補助率等：1/3以内・上限100万円
<b>【継続】 店舗バリアフリー補助</b>
制度概要：店舗のバリアフリー化に係る工事費用を支援します。 補助率等：2/3以内・上限200万円



<b>【継続】 女性社会進出促進補助</b>
<p>制度概要：職場環境の改善や託児、産休・育休等への対応に係る費用を支援します。</p> <p>補助率等：1/2以内・上限50万円</p>
<b>【継続】 高齢者・障がい者社会進出促進補助</b>
<p>制度概要：職場環境の改善や理解促進のための研修等に係る費用を支援します。</p> <p>補助率等：1/2以内・上限50万円</p>
<b>【継続】 商店街みだしなみ向上改修補助</b>
<p>制度概要：商店街におけるアーケードや装飾設備等の改修費用を支援します。</p> <p>補助率等：1/2以内・上限50万円</p>
<b>【継続】 経営セーフティ共済加入促進補助</b>
<p>制度概要：中小企業倒産防止共済制度に係る掛金の一部を支援します。</p> <p>補助率等：初月1カ月分・上限20万円（1事業者1回限り）</p>

## 拡充 事業承継ネットワークの構築

1 事業費（単位：千円） 【財源内訳】 【主な使途】

ゼロ予算

（前年度予算 135）

### 2 事業背景・目的

近年、中心市街地を含め、市内の飲食店舗が減少傾向にあり、令和5年度に中心市街地の飲食店を対象に行ったアンケート調査によると、10年後の店舗数は現在の約半数にまで減少する結果となるなど、市内飲食店を取り巻く環境は危機的な状況となっています。

主な理由としては、売上の減少、事業者の高齢化、後継者問題といった理由が上位に挙げられますが、その他に「店舗兼自宅」という地域ならではの特殊事情が事業承継をより難しくしている要因でもあり、店舗数の減少に追い打ちをかけています。

このため、市ではそうした悩みを抱えた各種事業者の相談窓口として、税理士事務所をはじめ、市内商工団体等からなる「飛騨市事業承継ネットワーク」を整備し、事業承継に関する様々な相談に対してきめ細やかで適切な支援を行っていきます。

### 3 事業概要

地域の実情を把握した団体等によるネットワークを構築することで、事業承継のマッチングや事業引継ぎ等について地域内完結型の支援を実現するため、税理士事務所をはじめ、市内商工団体、ビジネスサポートセンター等で構成する「飛騨市事業承継ネットワーク」を創設します。

なお、事業承継ネットワーク構成団体の各所へ寄せられた事業承継に関する相談については、相談内容の状況に応じて同ネットワークを通じ、実行団体及び金融機関、会計事務所、コンサル事業者等へ共有することで、効率的かつ効果的な事業承継支援につなげます。



担当課：商工観光商工課（☎0577-62-8901） 予算書：P. —

## 新規 町並み夜間景観の整備

1 事業費 (単位：千円)		【財源内訳】		【主な使途】	
	2,486	ふるさと納税	2,486	委託料	2,200
				旅費	168
(前年度予算	0)			使用料	118

### 2 事業背景・目的

魅力的な夜間景観を作ることは、市民の誇りとなるとともに、観光客の滞在時間の増加や夜間の飲食店への誘客促進、まちなかの賑わい創出など様々な効果が期待されます。

本市では、昼間は美しい自然や情緒ある町並みなど誇れる資源が豊富にある一方で、夜間景観については、これまで十分な検討や整備が行われていない状況にあります。

こうしたことから、令和5年度は日本を代表する照明デザイナー面出薫氏を招き、夜の古川町市街地における街路灯等の改善点を探るワークショップ「照明探偵団」を開催し、今後の夜間景観をどう改善すべきか市民の皆さんと意見交換を行ったところです。

令和6年度では、このワークショップの成果を踏まえ、具体的に古川町市街地の夜間景観の改善整備に着手するとともに、神岡町市街地においても市民参加による夜間景観改善を検討するワークショップを開催し、新たなまちの魅力創出を進めます。

### 3 事業概要

#### ① 瀬戸川・まつり広場の夜間景観基本設計の策定 (2,200千円)

令和5年度のワークショップで確認した古川町市街地の夜間景観のうち、シンボリックな箇所である瀬戸川（円光寺横）とまつり広場の夜間景観を改善するための基本設計を策定します。

#### ② 照明実験ワークショップ「照明探偵団」の開催 (286千円)

神岡町市街地（神岡城、藤波八丁等）の夜間景観の改善を図るため、市民参加による照明実験・意見交換のワークショップを開催します。



担当課：商工観光部まちづくり観光課（☎0577-73-7463） 予算書：P.112

## 【拡充】 飛騨古川町並み景観保全の仕組みづくり

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
6,907	ふるさと納税	計画策定委託料 5,950
		費用弁償 379
(前年度予算 1,000)		その他 578

### 2 事業背景・目的

古川町市街地の町並みは、明治37年の古川大火後に飛騨の匠の大工技術により築かれた後、周囲の町並みとの調和を重んじる住民の気風「相場」によって、今日まで調和ある美しい景観が保全されており、現在では無電柱化等の周辺環境の整備も進んでいます。

一方で、生活スタイルや若年世代の景観意識の変化、匠の技術を継承する大工の後継者不足等の課題もあり、町並み景観が崩れていくことが懸念されています。

このため、市では令和4年度に若手協力者を中心とした「飛騨古川・町並み景観研究会」を立ち上げ、飛騨古川の町並み景観研究に造詣が深い西村幸夫教授（國學院大學）や松井大輔准教授（新潟大学）の協力を得ながら、町並みの歴史や建築物の価値を学ぶ機会や景観保全の重要性を再認識するための取組みを行ってきました。

令和6年度では、引き続き研究会の取組みを進めるとともに、飛騨の匠文化館について、飛騨古川の町並みの価値・歴史・匠技術を学ぶことができる施設としてリニューアルすることを検討します。

### 3 事業概要

#### ①【新規】 飛騨の匠文化館リニューアル検討（6,236千円）

建設から約35年を迎える当施設が令和7年春に（公財）日本ナショナルトラストから本市へ譲渡される予定であることから、全国に誇る飛騨の匠の技術はもとより、飛騨古川の町並みの価値・歴史を学ぶことができる施設としてのリニューアルを検討します。



#### ②【継続】 飛騨古川・町並み景観研究会による啓発活動（671千円）

新潟大学工学部工学科都市計画研究室の協力を得ながら、町並み景観を深く学ぶセミナーと市民の町並み景観への意識高揚を図る取組み（懐かしの町並み写真活用等）を行います。



担当課：商工観光部まちづくり観光課（☎0577-73-7463） 予算書：P.112

## **拡充** 薬草を活用したまちづくりの推進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
4,909	ふるさと納税	4,909	委託料	1,700
			需用費	900
(前年度予算 5,300)			その他	2,309

### 2 事業背景・目的

森林の面積が9割以上を占める自然豊かな飛騨市には245種類もの薬草等有用植物の自生が確認されており、市ではこの貴重な地域資源である薬草を活用したまちづくりや、市民の健康づくりを公民協働で推進しています。

これまで、薬草フェスティバル開催や薬草拠点ひだ森のめぐみの運営などにより、継続した薬草の普及啓発に取り組んできたほか、令和5年度には過去最大の63団体出展による全国薬草シンポジウムの飛騨市開催や、富山大学との連携を開始するなど、市外関係者と連携した取組みも積極的に進めてきました。

令和6年度には、引き続き市内外の関係団体との連携を強化するとともに、富山大学や富山市と連携した市民健康ツアーの開催や、地域おこし協力隊による関連団体とのネットワーク構築、野草ビジネスモデルの検討など、更なる薬草の普及と活用を推進します。

### 3 事業概要

#### ①【拡充】市民健康ツアー、講座の開催 (851千円)

富山大学和漢医薬学総合研究所と連携した健康講座の開催に加え、同研究所の資料館見学や、富山市の「富山やくぜん」の取組み等を学ぶ市民向け健康ツアーを開催します。

#### ②【新規】薬草関係者の広域ネットワーク強化 (1,610千円)

飛騨市が全国の薬草関係者の中心的存在となる事を目指し、薬草フェスティバルの規模拡大、全国的なネットワーク構築、関係者との共同イベント開催等を進めます。

#### ③【新規】野草ビジネスモデルの検討 (ゼロ予算)

市民が薬草を収穫して市内の薬草関係事業者に納品する仕組み(野草ビジネスモデル)の構築を目指し、関係者の意見交換会や市民向け説明会を開催します。

#### ④【継続】薬草の普及促進 (2,448千円)

薬草活用講座や勉強会の開催、メナモミの種配布、薬草レシピの配布、薬草通信の発行、朝霧の森や市民農園での薬草栽培などを通じ、市内での薬草普及を推進します。

担当課：商工観光部まちづくり観光課 (☎0577-73-7463) 予算書：P.112

## 新規 戦国観光の推進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
2,948	県補助金 974	施設使用料 1,148
	一般財源 1,974	印刷製本費 500
(前年度予算 0)		その他 1,300

### 2 事業背景・目的

戦国観光は、全国的にコアなファン層向けのコンテンツとして定着しています。

近年、飛騨市では「江馬氏館」の調査研究が進められ、国指定史跡、国名勝となっており全国でも珍しい会所の復元建物として注目されているほか、令和5年度には、新たに姉小路関連5城が国史跡指定となるなど、飛騨の戦国にまつわる史跡等を発信・活用する絶好の機会となっています。

こうしたことから、飛騨市の戦国史跡発掘調査における研究成果を活かしながら、新しい戦国観光スポットを求めるファン層に対する情報発信を強化するとともに、実際に飛騨を訪れ史跡を安全に楽しんでいただけるよう、受入環境を整備します。

### 3 事業概要

#### ① 戦国関係イベントへの出展 (1,148千円)

コアなファン層に効果的かつ直接的に訴求するため、全国的な戦国関係イベントであるお城EXPO (大阪、横浜、名古屋) や、県内の関ヶ原祭などに出展し、飛騨の戦国情報を発信しファン獲得に繋がります。



#### ② 教育委員会と連携した山城を巡る仕組みづくり (1,500千円)

国史跡指定が広く認知されることで、市を訪れる人が増えることが予想されることから、登城口など各種サインの整備、お城ガイドの養成やお城マップの制作など受入環境の充実を図ります。

#### ③ 関連商品の発掘と開発 (300千円)

御城印と呼ばれるコレクションアイテムをはじめ、戦国関連の商品には出費を惜しまない戦国ファンが多いことから、イベント等でのPR用グッズの販売や新商品開発を行うことで、市内での消費及び観光客等の滞在時間の増加につなげます。

## **拡充** ドローンを活用したまちづくり

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
3,569	ふるさと納税	3,569	委託料	2,200
			補助金	900
(前年度予算 4,984)			その他	469

### 2 事業背景・目的

平成29年度に地元有志による「神岡ドローン&ロボットフェスin流葉」が開催されたことを契機に市民のドローンへの関心が高まったことを受け、市のドローン活用事業がスタートしました。

近年のドローンに関する技術革新は目覚ましく、特に産業分野では作業の効率化、安全性の向上、人手不足の解消などへの期待が高まっており、国も法整備を進めるなどドローン活用の基盤を整えているところです。このため、市においても市民生活の様々な場面でドローンが活用され、地域の新たな魅力創出、産業の発展等に繋がることを目指し、さらなるドローンの普及を推進します。

令和6年度では地元技術者と連携した普及啓発や、市役所業務におけるドローン活用の強化に取り組みます。

### 3 事業概要

#### ①【拡充】地元技術者と連携した市民への普及啓発 (1,000千円)

市内技術者の中核組織であるドローンコミュニティ「ヒダソラ」と連携して、空撮コンテストや体験会、勉強会の開催によりドローン普及を推進します。



#### ②【新規】ドローン活用による市役所業務の効率化支援 (1,000千円)

市役所の各業務でのドローン導入を推進するため、外部技術者と連携して必要な技術的助言や実証試験を行います。

#### ③【継続】産業分野でのドローン活用推進 (1,569千円)

市内関係者を対象とした勉強会や講習会を開催するほか、ドローン操縦技能資格を取得する際の費用や、市内事業者にドローンを活用した新規事業を依頼する際の費用を補助します。



担当課：商工観光部まちづくり観光課 (☎0577-73-7463) 予算書：P. 112



## **拡充** 自然環境保全と活用の推進

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】								
5,000	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">県補助金</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">2,500</td> </tr> <tr> <td>ふるさと納税</td> <td style="text-align: right;">2,500</td> </tr> </table>	県補助金	2,500	ふるさと納税	2,500	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">委託料</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">4,500</td> </tr> <tr> <td>広告料</td> <td style="text-align: right;">500</td> </tr> </table>	委託料	4,500	広告料	500
県補助金	2,500									
ふるさと納税	2,500									
委託料	4,500									
広告料	500									
（前年度予算 4,000）										

### 2 事業背景・目的

飛騨市内の自然資源の保全と活用を推進するため、令和4年度からまちづくり観光課が主体となり各資源の課題を整理し必要な対策を講じています。

「池ヶ原湿原」については、岐阜大学と連携した獣害対策の強化に加え、森スケ！（自然保全活動版ヒダスケ）を活用したボランティア活動の促進、さらに「天蓋山」では山之村牧場からの新たな登山道整備や、山之村小中学校と連携した地域プロモーションの強化を図っています。

令和6年度では、引き続き山之村エリアを重点に、山之村キャンプ場の再開も見据えた「天空のアウトドアフィールド」としての保全・活用施策の強化を図るとともに、森スケを活用した自然ボランティアの拡大に取り組みます。

### 3 事業概要

#### ①【拡充】YAMAPと連携した山之村プロモーション（3,500千円）

天蓋山YAMAP新道、山之村牧場、山之村キャンプ場を中心としたプロモーションに加え、山之村小中学校と連携した新たな地域資源の発掘や情報発信を図っていきます。



#### ②【新規】ユーチューバーを活用した山之村の情報発信（1,000千円）

令和6年度から再開する山之村キャンプ場の誘客拡大を目的として、アウトドアユーザーに人気のユーチューバーを活用した効果的な情報発信を図ります。

#### ③【改善】森スケによる自然環境保全活動の拡大（500千円）

年間保全活動計画を策定し、森スケを活用した自然環境保全に感度の高いボランティアと繋がることで、持続可能な保全活動体制の整備に取り組みます。

#### ④【改善】モンベル等と連携したツアー商品の造成（ゼロ予算）

アウトドアの総合メーカーであるモンベル等と連携し、飛騨市内の自然資源を活用したツアー造成を行います。（薬草事業と連携した健康ウォーキングを実施予定）